

「私たちの消防団活動～地域に咲かそう笑顔の輪～」

赤磐市消防団 分団長 井上由紀子

皆さん、こんにちは。赤磐市消防団女性部の井上と申します。

私たち女性部は現在 10 名で活動をしています。広報活動が主ですが、今年からは新たに保育園での防火教育で紙芝居を始めました。平日の依頼ですが二人もいれば十分に対応できます。しかしオバサンばかりでは盛り上がりにかけるので女性部の特別団員である しょうちゃんも参加します。

ビジュアル的にもちょっと個性豊かな しょうちゃんは子供たちに大人気です。しょうちゃんが来られない時は、これまた子供たちの大好きな、うさぎさんを連れて行きますが正直、夏は大変でいいダイエットになります。

さて、私たちの活動で一番ニーズがあるのが啓発劇です。始めたきっかけですが、劇ならより多くの人に見てもらえ防火などの知識を広めやすい。あわよくば女性部の存在を広くアピールして新入団員の確保にもつながる。それにちょっと楽しそう。正直言うと本当は一昨年 of 総社での研修会で発表する順番に当たっていてやるしかなかったからです。

とはいえイロハのイも分かりません。何から手をつければいいのか？

そもそも脚本ってどうやって書くんだろう？

グーグルで検索してもこれだという情報もなくみんなで集まり、まずテーマ、それから舞台設定、配役などを決めました。配役の一番人気は己を自覚してないずうずうしいメンバーが多いせいか 女子高生で反対に全員が必死で抵抗したのが、ハゲかつらのオヤジでした。小道具は各自で用意しましたが、背景は絵の得意なメンバーが一人で描きあげてくれました。

また右側の女性はこの先少々太ってもいいようにと娘さんのスカート 2 枚をつなげて折角リフォームしたのに…まあ、なんということでしょう！！

今、何故かもう限界にきています。

こんなメンバーとの練習はとても楽しいのですが、数名が夜勤もあるシフト勤務のため全員が揃うことが極めて困難です。また余分な人員がないのでたとえケガをしてギブス姿になろうとも役はそのままに設定を変えて対応しなければなりません。

学芸会のお芝居の経験すらない者がやむ得なく始めた啓発劇でしたが、観客の皆さんの反応をリアルに感じる事ができ、終わった後は達成感に包まれました。ありがたいことに、その後も口コミで依頼が入るようになりました。皆さん、よく笑ってください、セリフを忘れたら会場から励ましの声をかけてくださいます。「来年もまた来てなあ」と言われると素直に嬉しいです。

地域の皆さんの笑顔が私たちの活動の次への原動力となります。

啓発劇を通して消防団を身近に感じてもらえ、防火防災について考える機会も増える。準備は大変でもその分実りは大きいのです。

この活動で私たちの認知度もアップし新しい仲間も増え、益々個性的な女性部になりつつあります。

今日は、中でも一番個性的なメンバーを紹介したいと思います。

藤原ばあちゃんとしょうちゃん登場。(腹話術)

地域の皆さんに親んでもらうきっかけとなった啓発劇です。ただ、一定の人数が揃わないとせっかく依頼をいただいても断わるしかありません。

その為 3 人程度でも出来るミニバージョンにも挑戦したいです。そうすれば保育園の紙芝居同様、もっと要請に応じることが出来ると思います。

今日ここにいらっしゃる皆さんも操法や広報取り組みの形はそれぞれ違っても同じ志を持ちそれぞれの場所で防災の種を蒔かれていますと思います。ひとつでも明るく笑顔の花を咲かせられるよう、これからも共に活動していきましょう。

ご清聴ありがとうございました。